

備 前 市 事 務 事 業 評 価 表

事務事業名	畜産振興事業		コード	04-01-01-12
			担当課・係	農林水産課・管理係
			担当者	坂田圭弘
事業実施期間		電 話		
大項目(基本目標)		もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
中項目(基本施策)		豊かな食を支えるまちづくり		
小項目(施策)		農業		

事業について	
目 的 (何のために)	環境に配慮した畜産経営体の育成。
対 象 (誰・何を対象に)	畜産農家、畜産農家周辺の市民
内 容	関係機関と協力し、適正な畜産経営が展開されるための指導を実施。

事業の結果													
実施項目	17年度				18年度								
	回 数 な ど			(単位)	回 数 な ど			(単位)	回 数 な ど	(単位)			
畜産農家数	10 戸				10 戸								
事業費  (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		
	人件費	0	受益者負担		人件費	730	受益者負担		人件費		受益者負担		
			市債				市債				市債		
	合計	0	一般財源等	0	合計	730	一般財源等	730	合計	0	一般財源等	0	
	必要人員	人				0.13				人			
結果指標	結果指標名	畜産農家戸数				畜産農家戸数							
	結果指標量	10				10							
	単位	戸				戸							
	対前年比	－				100.00%				0.00%			
	活動にかかるコスト	0 円				730,000 円				円			
結果指標	単位当たりコスト	0 円				73,000 円				円			
	結果指標名												
	結果指標量												
	単位												
	対前年比	－											
結果指標	活動にかかるコスト	円				円				円			
	単位当たりコスト	円				円				円			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	環境に配慮した畜産経営を促進する。		
成果指標名	畜産農家戸数	式又は説明	-
	17年度	18年度	
成果指標量	10	10	
対前年比	—	100.00%	0.00%
到達目標値	畜産農家に対しての適正な指導等を今後も継続	到達目標年度	-

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： _____	妥当性評価＜A～E＞ 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	畜産を取り巻く各種法令への適合に向けた畜産農家への指導の実施は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価＜A～E＞ 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事務作業にかかる効率性を常にチェックし、コスト削減に努めている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
成果向上の可能性		<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	環境に配慮した畜産経営体の育成に向けての指導が本事業実施の意義であり、事業の実施は妥当である。
市民参画度		<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明	関係機関との連携を図りながら、畜産農家への指導を今年度も継続して実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値		結果指標量	結果指標量
成果指標量			

総合評価		評価区分<A~E>
環境に配慮した畜産経営に向けての指導は畜産振興を図る上で必要であり、今後も関係機関との連携を密にして実施していく。指導にかかる事務作業については見直しを実施し、効率の向上に努める。		C

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事務作業の見直しを実施。	平成19年度	効率性の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。